

農林水産分野における省CO₂効果の「見える化」の 具体化に向けた検討事項

1. 農林水産分野における省CO₂効果の「見える化」の意義

- ①農林水産業関係者の温室効果ガス排出削減の努力
 - ②木材製品の利用による炭素固定効果
 - ③バイオマスの化石資源代替効果
- を消費者に示すことで、地球温暖化対策に貢献する農林水産業の振興に資する。
- 化石資源等CO₂排出型資源からバイオマスへの転換の加速化に資する。
 - 温室効果ガスの排出を国民が認識し、省CO₂型の生活を選択することに資する。

※ 意義を踏まえ、以下の事項を検討

2. 表示方法

農林水産業関係者の排出削減努力等を消費者に的確に伝える表示のあり方

- ① CO₂排出総量表示か、排出削減効果表示か、その他
 - ・ CO₂排出総量
 - ・ 排出削減効果
 - ・ 排出削減努力をしていること
 - ・ 炭素固定量
 - ・ 化石燃料代替効果
 - ・ 輸送距離、輸送時のCO₂排出量 等
- ② 表示箇所
 - ・ 商品への表示
 - ・ 店頭、商品陳列棚での表示
 - ・ HPや広告での表示 等
- ③ マークの統一性、わかりやすさ

3. 算定方法

- ・ ISOにおける議論
- ・ 算定範囲

4. 信頼性の確保

5. 農林水産業関係者、消費者への普及、啓発

- ① 消費者ニーズの的確な把握
 - ・ 環境負荷よりも、価格、品質重視？
 - ・ 環境関係を含む各種ラベル、表示の乱立
 - ・ わかりやすさ 等
- ② 算定、表示のガイドラインの作成
- ③ 簡易算定サービス
- ④ 「見える化」の試行

6. その他